

ひまわり学級(肢体)	題材名	「やってみよう!」友達をひまわりランドに招待して一緒に遊ぼう
自立活動		

1. 目標

自分が考えた遊びの活動に友達を招待し、友達にルールを説明したり一緒に遊んだりする活動をとおり、友達からの質問に答えたり、自分が思ったことを友達に伝えたりする。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

「ひまわりランド」に友達を招待するために、友達に喜んでもらえる遊びを学校図書館の資料を活用して考える。

3. 授業での活用場面(5/10)

学習活動	学校図書館の関わり
1 学習の流れを確認する 「ひまわりランド計画」を確認する。 2 めあてを決める	・学校司書と連携し、「遊び」に使えるような資料をあらかじめ選定し、準備しておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 友達と一緒に楽しめる遊びを本やタブレットを利用して考えよう </div>	
・本から自分がつくれそうなおもちゃを選ぶ ・選んだ中から、友達に楽しんでもらえそうなおもちゃをいくつか選ぶ。 ・作り方がわかる動画を見る。	・本からいくつか選ぶ際、付箋を準備しておく。
3 ふりかえり 選んだおもちゃの情報から、準備物など次時の学習について確認をする。	・いつでも本を見ることができるよう、教室においておく。

4. 考察（成果や課題等）

・おもちゃを作ったり、友達と遊んだりする経験が少ない児童なので、自分からおもちゃを考えることが難しく、学校図書館の資料を参考することで、児童の「作りたい」気持ちが高まり、意欲をもっておもちゃ作りに取り組めた。また、自信をもって「ひまわりランド」に友達を招待し、自分から進んでコミュニケーションをとる姿も見られた。
 ・おもちゃ作りが得意な児童ではないので、児童の実態をしっかりと見取り、児童にあった資料を選ぶことが大切であると感じた。